

収入が少なくても、税金を課ける 生活が苦しくても、消費税は憲法違反です

日本国憲法

人間らしい生活できるように

第25条 けんこう ぶんかてき さいていげんど いとな けんり ゆう すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を 営む権利を有する。
 ② せいかつづめん しゃかいふくし しゃかいほしように 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び
こうしゅうえいせい こうじょうおよ ぞうしん つと 公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

人としての権利は、国民にずっと

第11条 きほんてきじんけん きょうゆう さまた 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。
けんぼう ほしように きほんてきじんけん おか えいきゆう この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の
けんり げんざいおよ しょうらい あた 権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

「お国のため」じゃない！まず一人ひとりを大切に

第13条 こじん そんちよう すべて国民は、個人として尊重される。
せいめい じゆうおよ こうふくついきゆう たい こくみん けんり こうきょう ふくし 生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に
はん かぎ りつぼう こくせい さいだい そんちよう ひつよう 反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。



消費税の趣旨・目的——「社会保障のため」

消費税法 (趣旨等) 第一条

2 消費税の収入については、地方交付税法に定めるところによるほか、毎年度、制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費に充てるものとする。

消費税ふくめ税金の使われ方——法律違反です

消費税が社会保障に使われてるなら、 何でこんなに悪くなってるの?!

		消費税導入以前(1988年度)	▶	現在(2015年度)
消費税率		0%	▶	8%
医療	サラリーマン本人の窓口負担	1割	▶	3割
	高齢者の窓口負担(外来)	定額(800円)	▶	1割~3割
	国民健康保険料(1人の平均)	56,372円	▶	93,203円(2014年度)
年金	厚生年金の支給開始年齢	60歳	▶	65歳
	国民年金保険料(月額)	7,700円	▶	15,590円
その他	介護保険料(65歳以上)	なし	▶	5,514円(全国平均)
	障がい者福祉の自己負担	応能負担(9割は無料)	▶	定率1割負担
	公立・公営保育所の数	13,657か所(88年10月)	▶	9,525か所

(出典:厚生労働省資料から作成)



ありえん君

おかしいと思いませんか?

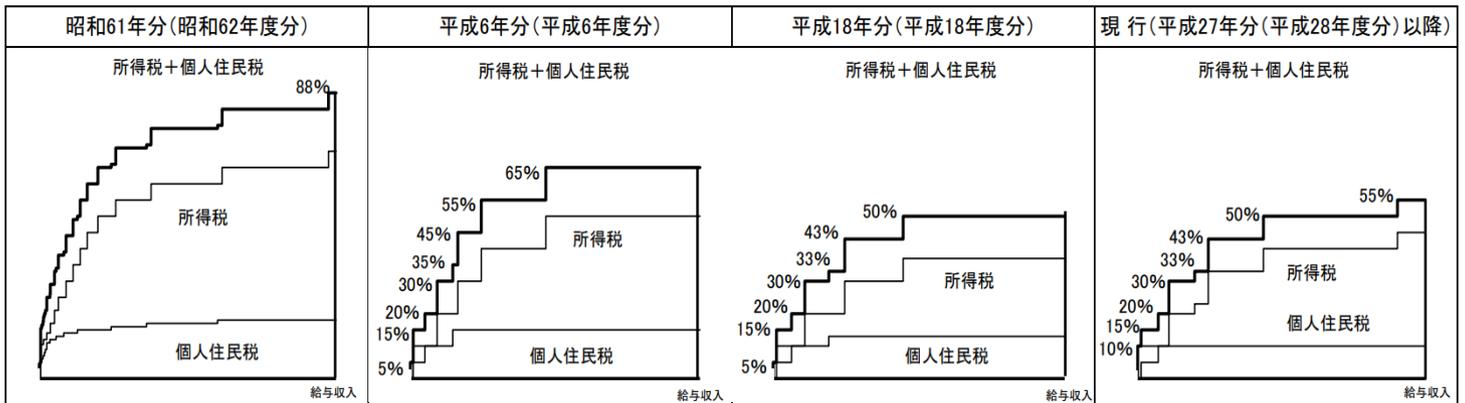
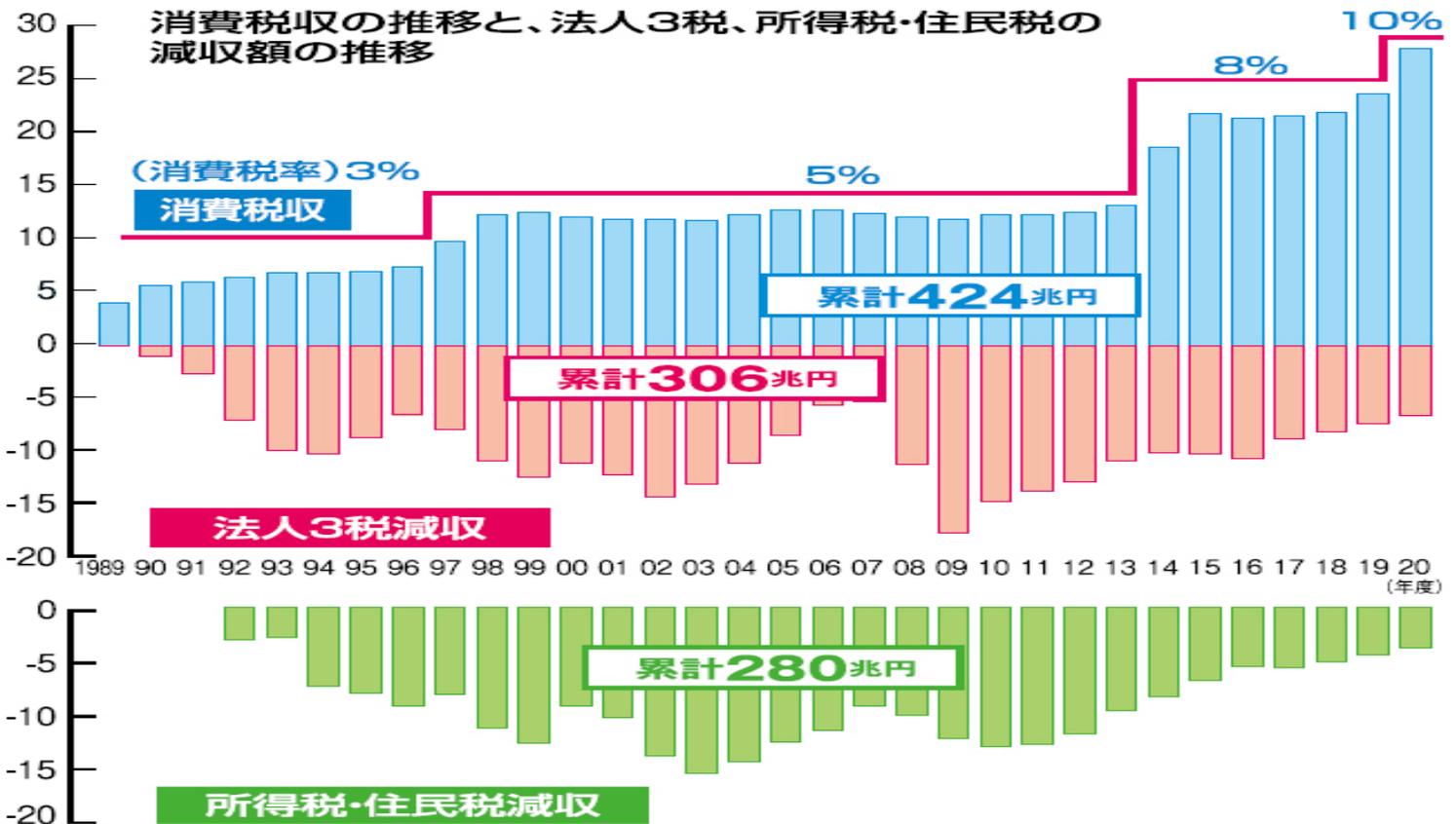


©消費税廃止各界連絡会

消費税導入後、社会保障は改悪の連続

社会保障は改悪の連続		消費税導入以前	▶	2020年
消費税率		0%	▶	10%(軽減8%)
医療	サラリーマン本人の窓口負担	1割	▶	3割
	高齢者の窓口負担(外来)	定額(800円)	▶	1割~3割
年金	厚生年金の支給開始年齢	89年時 男性60歳 女性56歳	▶	65歳
	国民年金保険料(月額)	7,700円	▶	16,540円

消費税増税しても、社会保障が充実しないのは、 お金持っている所を、減税してきたから



消費税に頼らなくても社会保障を支える 財源が生まれます

新たな財源試算(所得課税の総合累進課による税収額)

申告所得税	13兆3,797億円
源泉所得税	5兆5,041億円
個人留保所得5億円超への累進相続税	1兆1,079億円
法人税	21兆3,102億円
住民税	2兆1,723億円
合計	43兆4,742億円

不公平な税制をただす会試算